



第 10 号 令和4年3月1日

地域づくりの会

地域づくりの方針

1. 田中地区のつながりを大切にして、住民・区・各種団体がそれぞれに自らできることを実践し、不足するものについては周囲と助け合える関係性をつくります。
2. 田中駅周辺・海野宿・東御市の中心部として充実している社会インフラといった地域資源を有効活用し、産業を元気にするとともに、地域交流や地域教育にも活かします。
3. 親・子・孫世代、近隣住民が触れ合う中で、田中地区の魅力や引き継がれてきた価値観をコミュニティの中で共有します。
4. 最終的には、田中地区の確かな基盤のある暮らしを維持・発展させ、若い世代が戻る、あるいは入ってくる地域をつくります。

本来であればすべての行事を中止せざるを得ない状況の中、部会の皆様、区民の皆様のご協力をいただき、三つの行事だけでも実施できたことに感謝申し上げます。

- 田中まちなかハロウィン
(田中保育園の園児のみ参加)
- 田中小学校田中つこFEST★2021
(校舎内でのスタンブラリー)
- 第22回元旦・マラソン・ウォーキング
(マラソンは中止、ウォーキングのみ実施)

今年度の活動を振り返り、やはり昨年度と同様にコロナウイルスの影響により、ほとんどの行事の中止を余儀なくされました。しかしながら、感染状況が一時期小康状態となった昨年の秋頃から感染防止対策を講じながら、何とか三つの行事を実施することができました。



小林 直樹会長
「田中地区地域づくりの会」会長
の小林直樹と申します。

会長あいさつ

田中地区地域づくりの会
令和3年度を振り返って

会長・副会長等

役職	氏 名	住所
会 長	小林 直樹	田中区
副会長	丸山 陽一	西海野区
副会長	山岸 淳子	加沢区
会 計	加藤 賢一	県 区
顧 問	櫻井 寿彦	加沢区
事務局長	酒巻 弘	田中区
監 事	長越 修一	田中区
監 事	栗原 陽子	田中区

正副部会長

部会名	部 会 長	副 部 会 長
地域づくり推進部会	酒巻 弘	栗原 陽子
生涯学習部会	小野 高男	片桐 英貴
青少年育成部会	芦田 高英	藤沢 拓應
産業観光部会	新保 伸二	久田 和典
生活福祉部会	依田 政一	山岸 智之

※田中地区地域づくりの会は、会長・副会長等・正副部会長・区長の役員と各種団体等の構成員による委員で組織されています。





「田中まちなかハロウィン」で 田中商店街を賑やかに



十月十八日から三十一日の間「田中まちなかハロウィン」を開催しました。

昨年に引き続き、コロナ禍で規模を縮小しての実施となりましたが、田中小学校の児童が目や口のシールを貼ってくれたカボチャを田中駅ロータリーや商店、事業所に展示しました。二十九日にはお散歩にやって来た地元の保育園児に商店街の皆さんの協力をいただいて、お菓子のプレゼントをしました。



楽しかった「田中まちなかハロウィン」

田中保育園長 春原 和美

今年度も『田中まちなかハロウィン』にご招待いただきありがとうございます。衣装作りを楽しむ姿や、当日の様子を学年ごとにお伝えしたいと思います。

【年少児】折り紙でカボチャとオバケを折って部屋に飾りハロウィンの日を楽しみにしていました。当日はそのカボチャとオバケを帽子に付け、『トリックオアトリート!』の合言葉を覚えて田中商店街へ出掛けました。商店街の方々に声を掛けていただいたり、沢山のお菓子をもらって大喜びの子ども達でした。

【年中児】カボチャのバック作りでは「どんな顔にしよかな」と考えながら自分の好きな飾り付けをしました。当日は元気に皆で商店街へ出発! 商店街の飾り付けやお店の方の衣装、パンキンマンとの遭遇など、ハロウィンの雰囲気を楽しみながら地域の方々と交流を楽しみました。

【年長児】毎年楽しみにしているハロウィン。衣装作りでは自分でイメージしたものを形にしながら皆で盛り上げて作りしました。当日は元気よく「トリックオアトリート!」と合言葉を伝え商店街の方からお菓子をもろう子どもたち。笑顔いっぱいの子どものらしい表情や姿に私たちも嬉しくなりました。

ハロウィンを楽しみに子どもたち自身が頑張って作った自慢の衣装や小物も地域の方々に見てもらえ、「可愛いね」「上手に作ったね」と沢山の満足感も一層増したように感じました。

コロナ禍で、地域の方との交流もなかなかできずにいましたが、このような季節のイベントを通して交流できる機会をいただけたことに感謝の気持ちでいっぱいです。これからも地域の皆様と一緒に子どもたちの成長を見守っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

田中商店街の皆様、ありがとうございました。

田中っこフェスの一日

田中小学校長
寺島 努



二年目のコロナ禍、今年も様々な制約の中での学校生活でありました。しかし、そうした中でも会長さんをはじめPTAの皆様、地域の熱意と田中地区地域づくりの会の皆様のご協力を得て「田中っこFES★2021」を開催して頂きました。

一回の延期を乗り越えて迎えた当日、いつもの学校にいろんなアトラクションのブースができ、バルーンとスタンپカードをもった子供たちの笑顔



があふれました。ペットボトルを一投で全部倒して得意げな子、どのくじを引こうかと迷っている子、お化け屋敷の前でちょっと強がっているような子、嬉々として〇×クイズにトライする子。
一つ一つの出来事は忘れてしまいかもしれませんが、「楽しかった思い出」は心に貯まってくのでしょうか。その貯まった思い出を自分が中学生になった時や大人になった時など、今度は地域に還していく。そんなつながりができたら…。そんな思いをいだいたフェスの一日でした。



とうございます。
昨年度同様、新型コロナウイルスの影響で毎年恒例となっておりました「田中サマーフェスティバル」や「餅つき大会」は中止となりましたが、制限された中でも子供たちの笑顔のために、PTA役員・おやじの会一丸となつて、『田中っこFES★2021』を開催することができました。

笑顔のために



田中小学校PTA会長
堀川 慎太郎

田中地区地域づくりの会の皆様には、学校行事・PTA活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありが



地域づくりの会青少年育成部会の方々には、企画会議から当日の運営までご協力いただきました。たくさんの方の児童・保護者にご参加いただき、大盛況となりました。
来年度以降は、田中地区住民の皆さんが制限なく参加できる行事になることを願っております。
今後も、子供たちの笑顔のために、学校PTA活動に引き続きご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

「第22回元旦ウォーキング」を開催しました



令和4年元旦に「第22回元旦ウォーキング」を開催しました。コロナ禍のため、マラソンは中止とし、感染防止対策としてマスクを着用してのウォーキングのみを二年ぶりに実施しました。前日の雪が歩道に残る寒い元旦でしたが、田中公民館から縣諏訪神社を往復する2・5kmのコースにご家族での参加が多く見られました。



「田中地区地域づくりの会」とは

「田中地区地域づくりの会」は、少子高齢化や地域の連帯意識の希薄など、社会環境が変化するなか、私たちがこれから住んでいきたいと思える地域を、住民みんなが主体となって、みんなで考え、みんなで行動していくことで実現していくことを目的としています。

また、田中小学校区単位という身近で住民の連帯感が共有できる地域を単位として、自分たちが望む地域をつくるため、地域住民や各種団体が連携を図りながら、地域課題の解決に向けて自主的・継続的に取り組むことができる体制をつくり、住民自らが考え行動する自立した地域を目指すものです。会では五つの部会に分かれており、コロナ禍によりここ2年間は中止した事業もありますが本来の主な活動をご紹介します。

「生涯学習部会」では分館交流スポーツ大会・ふるさと散策・元旦マラソンウォーキングなどを行っています。

「青少年育成部会」ではサマーフェスティバル・子ども相撲・餅つき大会など子ども達が楽しみにしている事業を行っています。

「産業観光部会」では田中まちなかハロウィンのほか、商店街活性化のため

めの事業を行っています。

「生活福祉部会」では健康保持のための講演会・地域防災と災害時の対応・支えあいなど福祉に関する事業を行っています。

「地域づくり推進部会」ではハザードマップ作成支援・空家、公共交通に対する意識啓発などを行っています。

地域づくりは行政にお任せでなく、住民自ら取り組むべき課題であるという意識を持つことが必要ではないでしょうか。



編集後記

新型コロナウイルスの影響が長引くなか、中止せざるを得ない事業もありましたが実施できた活動内容等を掲載させていただきました。

田中地区地域づくりの会事務局
中央公民館 電話 71-6790